地域・社会とともに

～ ISO26000 7つの中核課題:コミュニティへの参画およびコミュニティの発展 ～

基本的な考え方

保土谷化学グループは、事業活動を営んでいく上で、コミュニティの持続的発展への貢献は企業市民として重要な活動であると考えております。化学を通じた子供たちの育成、工場が立地する地域での環境保全活動や、人々の豊かな暮らしに役立つ有形物・無形物の提供等、さまざまな地域貢献活動に取り組んでおります。

郡山工場
鈴木　規敏

小学校への出前授業

2019年度、郡山工場におけるCSR活動の一環として、近隣の小学校2校を対象に出前授業を行いました。今回は、普段私たちが分析に使用している液体窒素を使った実験、保土谷化学グループの製品である過酸化水素の漂白作用と関連付けた古紙再生からしおりづくり、色素材と関連付けた色に関する実験について講義を行ったり、実験を披露したり、実際に体験もしてもらいました。子供たちは講義にも熱心に耳を傾け、実験にも楽しそうに取り組んでくれました。それぞれの実験はテレビ番組でも見ることもありますが、実際に生で見て触れることでの驚きや感動があったと思います。

今後も出前授業やこおりやま産業博を通して、地域の子供たちに化学の面白さを伝えていきたいです。

地域社会への社有地の提供

保土谷化学は「民間企業として、可能な範囲内で行政・地域社会等へ協力していく」との考えから、工場敷地を無償で貸与しております。

郡山工場では郡山駅東西連絡自由通路、ならびに市営駐輪場等、また南陽工場では新南陽野球場等へ工場敷地の一部等を無償貸与しております。

2019年10月、郡山市・福島交通郡山支社との3者間で、災害時におけるバス車両退避に関する協定を結びました。災害が発生した際に車両の被災を避けるため、当社郡山工場の敷地の一部を退避場所として提供するものです。台風19号襲来の際には早速利用され、被災車両の低減に役立ちました。

森材ボランティア

2019年10月、周南市有林「ふれあいの森」にて、山口県周南農林事務所の主催による、「まちと森と水の交流会」が開催されました。日々の生活や企業活動に欠かせない、森林の持つ水源かん養機能や地球温暖化防止に対する理解を深めることを目的に毎年開催されており、南陽工場は1996年の第1回から参加しております。

現地は、本当にこの場所で作業を行うのかと目を疑うような急斜面でしたが、参加者は中に入ってしまうと体も慣れ、普段目にすることのない新鮮な景色を見ながら作業を進めました。

この活動で得た経験を日々の生活に取り入れ、自然を意識していきたいと感じております。

WEB https://www.hodogaya.co.jp/csr/stakeholder/community/